

資料1

八尾市立病院の業務状況(平成23年度)

平成24年7月13日

1. 平成23年度の業務状況

(1) 概況

平成19年12月に総務省から「公立病院改革ガイドライン」が示され、当院でも平成21年2月に八尾市立病院改革プラン(以下、改革プラン)を策定し、早くも3年が経過した。

改革プラン最終年度となる平成23年度も、医療の質を向上させながら、経営の健全化に向け、PFI事業に携わる職員を含めた病院に勤務するすべての職員が一丸となって取り組みを進めた。その結果、改革プランに取り組む前の厳しい状況から大きく収支改善に成功し、念願であった単年度黒字となる純利益400万円を達成することが出来た。

主な平成23年度の取り組みとしては、チーム医療の推進により、患者中心の良質で安全な医療提供を継続しながら、医師確保を確実に進め、診療体制の充実に努めたことにより、23年度末時点の医師は90名となり、20診療科を標榜することができた。特に、専門医の確保により、肺がん等の呼吸器外科疾患の対応が飛躍的に向上したほか、常勤の脳神経外科医の確保により、脳神経外科分野の入院対応や救急対応が可能となるなど、これまでの医師確保に向けた努力が実を結びつつある。

さらに、平成24年度の地域医療支援病院承認に向け、逆紹介率の向上などの要件整備を確実に進めるとともに、大規模災害時の対応力の向上を目指し、災害時のトリアージ訓練を実施するほか、災害用資器材等の充実に努めた。

(2) 経営状況

単年度純利益をあげることに成功するなど、経営状況は大いに好転した。

平成23年度の延入院患者数は120,386人となり、前年度を1,672人、1.4%上回った。また延外来患者数は189,837人となり、前年度を651人、0.3%上回った。また、診療単価については、入院は、鏡視下手術等の推進等による高度医療の推進や医療体制の整備・充実による新たな診療報酬の加算(急性期看護補助体制加算・総合入院体制加算)、さらに脳神経外科の入院再開などにより前年度から3,061円上昇した。また、外来は外来化学療法の推進などにより前年度から652円上昇した。

これらにより、対前年度で、入院収益は4億4,900万円、外来収益は1億3,100万円の増となるなど、医業収益は92億9,500万円に、総収益は101億6,900万円となり、100億円を超える収益規模となった。

一方費用では、医療体制・内容の充実に伴う1億4,600万円の給与費の増や、1億7,900万円の材料費の増等の増要因から、総費用が3億1,500万円増加したものの、総収益が5億7,000万円増となったことから、2億5,500万円の収支改善が図られた。

その結果、主な経営指標である経常収支比率は100.4%となったほか、医業収益に対する職員給与比率が50%を下回る48.1%になるなど、各種指標は概ね良化している。

(3) 改革プランとの比較

改革プランとの比較では、入院患者数・外来患者数については、計画値が高かったため、いずれも計画を下回ったが、医療の質の向上により、患者1人1日当たりの診療収入が入院・外来ともに計画を大幅に上回ったことから、収益全体で計画より5億9,000万円の増収となった。

一方、費用では、材料費が計画より8,000万円増加したが、給与費が計画より1億4,500万円減少す

るなど、費用全体で計画を 4,200 万円下回った。

これらの結果、単年度の純損益は計画より 6 億 3,200 万円改善されるとともに、年度末の資金剰余額も、計画より 15 億 5,900 万円増加した。また、100.4%となった経常収支比率は計画を 6.5%上回ったほか、医業収支比率・医業収益に対する職員給与費の割合・医業収益に対する材料費の割合という主要な数値目標はそれぞれ計画より良化した。

2. 改革プランの総括

八尾市立病院が地域住民に必要な医療を提供するという役割を果たし続けるため、財政基盤の安定化を目的として、平成21年度から平成23年度を計画期間として、改革プランを策定し、取り組みを進めてきた。

改革プランでは、短期的に経常収支の黒字化は困難だと思われる厳しい収支状況であったため、対象期間中に単年度純損失を段階的に縮小するとともに、資金収支の黒字化を実現し、運転資金を増やすことにより経営の安定化を図ることを目標とした。

この目標達成に向けた3年間を総括すると、計画の初年度である平成21年度を改革元年と位置づけ、地方公営企業法の全部適用への移行により経営の自律性・機動性を高めつつ、医療スタッフの確保、高度医療の提供などによる収益増とともに、費用の抑制、組織の活性化など、経営改善に職員一丸となって継続的に取り組んだ。

その結果、対象期間中に単年度純損失を段階的に縮小することと、資金収支の黒字化を実現することの2点の目標に対し、改革プランの計画より1年早く、平成21年度に減価償却前収支の黒字化を実現し、また平成22年度には資金収支の黒字化を達成した。さらに、平成23年度には、改革プランの期間での達成が非常に困難であったため、目標として設定することができなかった減価償却を含む単年度収支の黒字化を達成し、400万円の単年度純利益をあげるなど、計画を上回るスピードで健全化を成し遂げることに成功した。また、それにあわせて、資金剰余額も20億6,600万円に達している。

これらを実現できた要因としては、幹部職員のリーダーシップのもと、PFI事業に携わる職員を含めた病院に勤務するすべての職員が一丸となって取り組みを進めたことがあげられる。そのことを示すように、事業運営における具体的取り組み(「診療体制及び診療内容の充実による収益確保」「コスト削減の取り組み」「その他の取り組み」という3つの分類)においては、D評価となる「具体的に進まず」という項目を全く出すことなく、全ての項目で一定の取り組みを進めた上、多くの項目でA評価となる「目標を達成または目標とする状況を実現できた」という評価を上げることができた。(平成 23 年度の評価内容については、資料2を参照)また、「数値目標」「収支計画」に対する取り組みについても、それぞれ大きく改善することとなった。(次ページ以降の数値を参照)

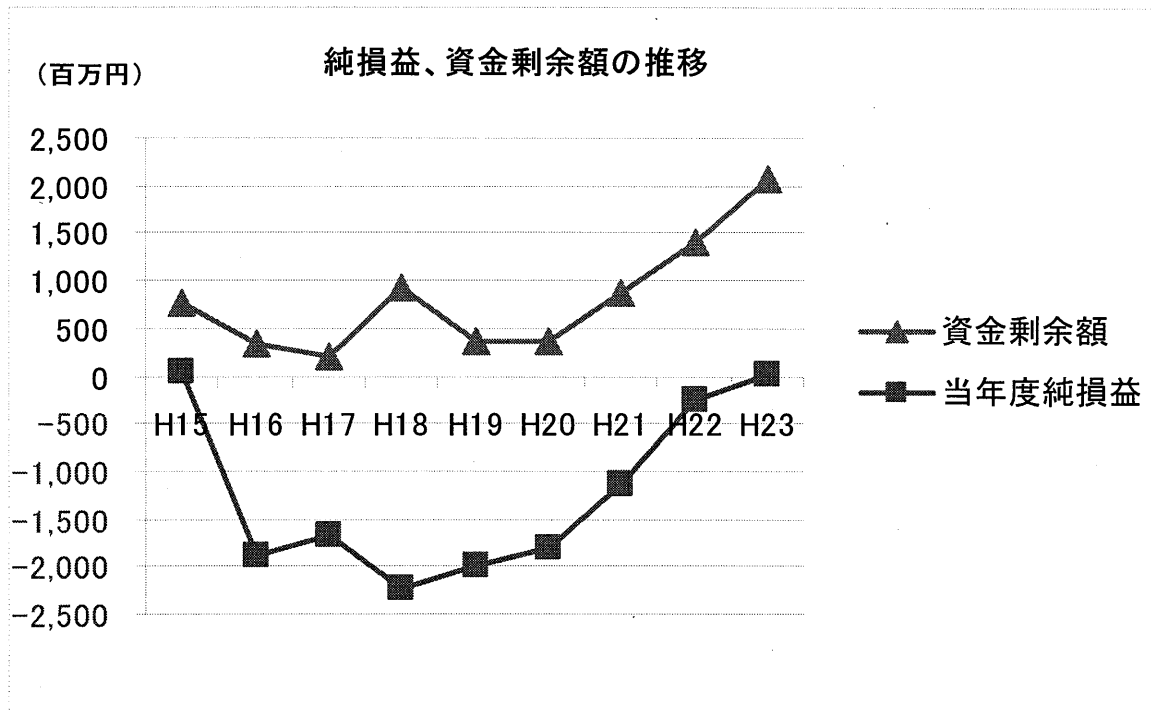
(具体的な取り組みの評価の推移)

	A評価	B評価	C評価	D評価
平成21年度	25項目	8項目	1項目	0項目
平成22年度	26項目	7項目	1項目	0項目
平成23年度	30項目	3項目	1項目	0項目

この流れをさらに堅調なものとするため、改革プランの次の計画となる「八尾市立病院経営計画(以下、経営計画)」を平成24年2月に策定し、新たな目的・目標・具体的な取り組みを設定した。経営計画は、平成

24年度を初年度とする3ヵ年計画であり、今後この計画に基づき取り組みを進めていく。

平成24年度は、地域医療支援病院の承認やその推進体制の整備の一環として進める「病診連携システム」の構築など、地域医療連携の充実を進めるなど、平成24年度を初年度とする経営計画を着実に推進することで、これまで以上に良質で安全な医療の提供に努めながら、経営の健全化を図っていく。



※資金剰余額＝年度末の流動資産－年度末の流動負債(マイナスの場合は「不良債務」)

3. 八尾市立病院改革プランの達成状況

項目 \ 年度	平成22年度 決算 (a)	平成23年度 計画(プラン) (b)	平成23年度 決算見込 (c)	平成23見込 -22決算 (c)-(a)	平成23見込 -23計画 (c)-(b)	計画に対す る達成率(%) ※4
年間延入院患者数(人)	118,714	125,172	120,386	1,672	▲ 4,786	96.2
年間延外来患者数(人)	189,186	192,760	189,837	651	▲ 2,923	98.5
病床利用率(%)	85.6	90.0	86.6	1.0	▲ 3.4	96.2
平均在院日数(日)	11.9	12.5	11.6	▲ 0.3	▲ 0.9	107.8
入院患者1人1日当たり診療収入 (入院収益÷年間延入院患者数)(円)	47,648	46,818	50,709	3,061	3,891	108.3
外来患者1人1日当たり診療収入 (外来収益÷年間延外来患者数)(円)	12,547	12,267	13,199	652	932	107.6
(減価償却費を除いた数値)	(714)	(223)	(849)	(135)	(626)	(380.7)
当年度純損益(病院事業収益-病院事 業費用)(百万円)	▲ 251	▲ 628	4	255	632	-
資金剰余額(百万円)	1,415	507	2,066	651	1,559	407.5
経常収支比率(経常収益/経常費用× 100)(%)	97.3	93.9	100.4	3.1	6.5	106.9
医業収支比率(医業収益/医業費用× 100)(%)	93.8	92.2	97.5	3.7	5.3	105.7
医業収益に対する職員給与費の割合 (%)	50.2	53.0	48.1	▲ 2.1	▲ 4.9	110.2
医業収益に対する材料費の割合(%)	19.1	19.8	19.7	0.6	▲ 0.1	100.5

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収入の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 地方公営企業会計基準による職員給与費(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率。

※4 計画に対する達成率(%)の計算式は、網掛けの項目(平均在院日数、医業収益に対する職員給与費の割合、医業収益に対する材料費の割合)については、(b)/(c)*100、その他の項目については、(c)/(b)*100。

4. 平成23年度の収支状況

(税 抜) (百万円)

項目	年度	(税 抜) (百万円)					計画に対する達成率(%) ※
		平成22年度 決算 (a)	平成23年度 計画(プラン) (b)	平成23年度 決算見込 (c)	平成23見込 -22決算 (c)-(a)	平成23見込 -23計画 (c)-(b)	
病院事業収益		9,599	9,579	10,169	570	590	106.2
経常収益		9,551	9,575	10,161	610	586	106.1
医業収益		8,677	8,845	9,295	618	450	105.1
入院収益		5,656	5,860	6,105	449	245	104.2
外来収益		2,374	2,365	2,505	131	140	105.9
その他医業収益		647	620	685	38	65	110.5
医業外収益		874	730	866	▲ 8	136	118.6
特別利益		48	4	8	▲ 40	4	200.0
病院事業費用		9,850	10,207	10,165	315	▲ 42	100.4
経常費用		9,820	10,192	10,122	302	▲ 70	100.7
医業費用		9,249	9,596	9,532	283	▲ 64	100.7
給与費		4,653	4,944	4,799	146	▲ 145	103.0
材料費		1,654	1,753	1,833	179	80	95.6
経費		1,926	1,997	1,977	51	▲ 20	101.0
減価償却費		965	851	845	▲ 120	▲ 6	100.7
その他		51	51	78	27	27	65.4
医業外費用		571	596	590	19	▲ 6	101.0
特別損失		30	15	43	13	28	34.9
経常損益		▲ 269	▲ 617	39	308	656	-
(減価償却費を除いた数値)		(714)	(223)	(849)	(135)	(626)	(380.7)
純 損 益		▲ 251	▲ 628	4	255	632	-
(減価償却費を除いた数値)		(▲ 2,908)	(▲ 3,705)	(▲ 2,059)	(849)	(1,646)	179.9
累積欠損金		▲ 12,156	▲ 13,821	▲ 12,152	4	1,669	113.7
資金剰余額		1,415	507	2,066	651	1,559	407.5

※ 計画に対する達成率(%)の計算式は、網掛けの項目については(b)/(c)*100、その他の項目については(c)/(b)*100

(税 抜) (百万円)

項目	年度	(税 抜) (百万円)					計画に対する達成率(%) ※
		平成22年度 決算 (a)	平成23年度 計画(プラン) (b)	平成23年度 決算見込 (c)	平成23見込 -22決算 (c)-(a)	平成23見込 -23計画 (c)-(b)	
資本的収入		583	1,128	1,031	448	▲ 97	91.4
出資金		581	590	621	40	31	105.3
企業債		0	538	408	408	▲ 130	75.8
固定資産売却代金		0	0	0	0	0	-
補助金		2	0	2	0	2	皆増
資本的支出		912	1,437	1,375	463	▲ 62	104.5
建設改良費		190	703	641	451	▲ 62	109.7
企業債償還金		722	734	734	12	0	100.0
差引合計		▲ 329	▲ 309	▲ 344	▲ 15	▲ 35	89.8

※ 計画に対する達成率(%)の計算式は、資本的収入については(c)/(b)*100、資本的支出については(b)/(c)*100

5. 主な収益・費用の増減

(税抜)

(千円)

項 目	平成23年度見込	平成22年度	増減額	増減率(%)
総 収 益	10,169,063	9,598,837	570,226	5.9
医 業 収 益	9,295,690	8,676,985	618,705	7.1
入 院 収 益	6,104,707	5,656,433	448,274	7.9
外 来 収 益	2,505,587	2,373,784	131,803	5.6
そ の 他 医 業 収 益	685,396	646,768	38,628	6.0
他 会 計 負 担 金	380,831	356,761	24,070	6.7
そ の 他	304,565	290,007	14,558	5.0
医 業 外 収 益	865,944	873,859	▲ 7,915	▲ 0.9
受 取 利 息 及 び 配 当 金	4,034	1,951	2,083	106.8
他 会 計 補 助 金	769,502	787,347	▲ 17,845	▲ 2.3
補 助 金	24,547	19,310	5,237	27.1
そ の 他 医 業 外 収 益	67,861	65,251	2,610	4.0
特 別 利 益	7,429	47,993	▲ 40,564	▲ 84.5

(税抜)

(千円)

項 目	平成23年度見込	平成22年度	増減額	増減率(%)
総 費 用	10,165,497	9,849,934	315,563	3.2
医 業 費 用	9,531,972	9,249,251	282,721	3.1
職 員 給 与 費	4,799,108	4,653,012	146,096	3.1
給 料	1,616,564	1,604,341	12,223	0.8
手 当	1,790,086	1,676,926	113,160	6.7
賃 金	264,689	230,841	33,848	14.7
報 酬	327,667	350,018	▲ 22,351	▲ 6.4
法 定 福 利 費	597,898	592,889	5,009	0.8
退 職 給 与 金	202,204	197,997	4,207	2.1
材 料 費	1,832,764	1,654,593	178,171	10.8
薬 品 費	1,305,528	1,154,175	151,353	13.1
投 薬 薬 品	116,763	104,603	12,160	11.6
注 射 薬 品	975,759	886,094	89,665	10.1
そ の 他 薬 品	213,006	163,478	49,528	30.3
診 療 材 料 費	527,236	500,418	26,818	5.4
経 費	1,976,722	1,925,773	50,949	2.6
光 熱 水 費	250,902	242,050	8,852	3.7
委 託 料	1,638,048	1,599,371	38,677	2.4
そ の 他 経 費	87,772	84,352	3,420	4.1
減 価 償 却 費	845,557	964,979	▲ 119,422	▲ 12.4
資 産 減 耗 費	50,441	27,418	23,023	84.0
研 究 研 修 費	27,380	23,476	3,904	16.6
医 業 外 費 用	590,620	570,402	20,218	3.5
支 払 利 息	322,243	335,089	▲ 12,846	▲ 3.8
繰 延 勘 定 償 却 費	54,496	54,496	0	0.0
紛 争 処 理 費	0	1,250	▲ 1,250	皆減
雑 支 出	213,881	179,567	34,314	19.1
特 別 損 失	42,905	30,281	12,624	41.7

6. 主要な経営指標の推移

項目	年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度見込
年間延入院患者数(人)		111,080	113,180	117,405	118,714	120,386
年間延外来患者数(人)		174,517	174,905	187,737	189,186	189,837
病床利用率(%)		79.9	81.6	84.6	85.6	86.6
平均在院日数(日)		12.6	12.3	11.9	11.9	11.6
入院患者1人1日当たり診療収入 (入院収益÷年間延入院患者数) (円) ※1		39,589	43,855	45,132	47,648	50,709
外来患者1人1日当たり診療収入 (外来収益÷年間延外来患者数) (円) ※1		11,359	12,023	12,235	12,547	13,199
当年度純損益(病院事業収益－病 院事業費用)(百万円)		▲ 1,991	▲ 1,805	▲ 1,139	▲ 251	4
経常収支比率(経常収益／経常費 用×100)(%) ※2		79.4	82.3	88.9	97.3	100.4
医業収支比率(医業収益／医業費 用×100)(%)		77.0	80.2	86.0	93.8	97.5
医業収益に対する職員給与費の割 合(%) ※3		57.3	55.7	52.8	50.2	48.1
医業収益に対する材料費の割合 (%)		20.4	20.6	19.2	19.1	19.7

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収入の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 地方公営企業会計基準による職員給与費(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率。

7. 収支の推移

(税抜き)

(単位:百万円)

項目	年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度見込
	病院事業収益		7,659	8,419	9,059	9,599
經常収益		7,652	8,406	9,050	9,551	10,161
医業収益		6,954	7,646	8,244	8,677	9,295
入院収益		4,398	4,963	5,299	5,656	6,105
外来収益		1,982	2,103	2,297	2,374	2,505
その他医業収益		574	580	648	647	685
一般会計繰入金		331	336	357	357	381
その他医業収益		243	244	291	290	304
医業外収益		698	760	806	874	866
一般会計繰入金		639	632	726	787	770
その他医業外収益		59	128	80	87	96
特別利益		7	13	9	48	8
うち一般会計繰入金		0	0	0	0	0
病院事業費用		9,650	10,224	10,198	9,850	10,165
經常費用		9,633	10,209	10,176	9,820	10,122
医業費用		9,029	9,537	9,583	9,249	9,532
職員給与費		4,231	4,549	4,701	4,653	4,799
材料費		1,415	1,575	1,582	1,654	1,833
経費		1,925	1,964	2,010	1,926	1,977
うち委託料		1,561	1,617	1,693	1,599	1,638
減価償却費		1,432	1,422	1,256	965	845
その他医業費用		26	27	34	51	78
医業外費用		604	672	593	571	590
支払利息		363	357	348	335	322
その他医業外費用		241	315	245	236	268
特別損失		17	15	22	30	43
經常損益		▲ 1,981	▲ 1,803	▲ 1,126	▲ 269	39
純損益		▲ 1,991	▲ 1,805	▲ 1,139	▲ 251	4
累積欠損金		▲ 8,961	▲ 10,766	▲ 11,905	▲ 12,156	▲ 12,152
資金剰余額※		369	352	870	1,415	2,066

※年度末の流動資産－年度末の流動負債

資本的収支	資本的収入	519	1,163	1,415	583	1,031
	一般会計出資金	519	663	707	581	621
	企業債	0	0	0	0	408
	補助金	0	0	29	2	2
	固定資産売却代金	0	500	679	0	0
	資本的支出	739	956	1,096	912	1,375
	建設改良費	92	99	387	190	641
企業債償還金	647	857	709	722	734	

8. 経営指標の増減、府下病院との比較

区 分		算 式	平成 23年度	平成 22年度	22年度 府下10市 平均	
一般病床利用率 (%)		年延入院患者数／年延病床数×100	86.6	85.6	82.8	
1日平均患者数 (人)	入 院	年延入院患者数／年間日数	328.9	325.2	338.8	
	外 来	年延外来患者数／診療日数	778.0	778.5	956.2	
	計	入 院 + 外 来	1,106.9	1,103.7	1,295.0	
外来入院患者比率 (%)		年延外来患者数／年延入院患者数×100	157.7	159.4	193.0	
職員一人一日 当り患者数	医 師	入 院	$\frac{\text{年延入院(外来)患者数}}{\text{年延職員数}}$	4.8	5.1	3.8
		外 来		7.6	8.0	7.1
		計		12.4	13.1	10.9
	看護部門 職 員	入 院		1.4	1.5	1.1
		外 来		2.2	2.4	2.0
		計		3.6	3.9	3.1
職員1人1日当り 診療収入 (千円)	医 師	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延職員数}}$	346	341	268	
	看護部門職員		102	101	76	
患者1人1日当り 診療収入 (円)	入 院	入院(外来)収益／年延入院(外来)患者数	50,709	47,648	50,097	
	外 来		13,199	12,547	11,151	
	計		27,755	26,081	24,620	
患者1人1日当たり医療材料費(円)		医療材料費／年延入院外来患者数	5,908	5,374	5,849	
薬 品 費(投薬・注射薬)(円)		薬品費(試薬等除く)／年延入院外来患者数	3,522	3,218	2,857	
その他医療材料費 (円)		その他医療材料費／年延入院外来患者数	2,386	2,156	2,992	
医業収益に対する 割合 (%)	職員給与費	職員給与費／医業収益×100	48.1	50.2	51.0	
	医療材料費	医療材料費／医業収益×100	19.7	19.1	22.0	
	経 費	経 費／医業収益×100	24.7	25.6	22.7	
	委 託 料	委 託 料／医業収益×100	17.6	18.4	12.1	
	減価償却費	減価償却費／医業収益×100	9.1	11.1	8.4	
	企業債利息	企業債利息／医業収益×100	3.5	3.9	2.7	
100床当たり職員 数 (人)	医 師	$\frac{\text{年度末職員数} \times 100}{\text{年度末許可一般病床数}}$	23.9	22.7	24.1	
	看護部門職員		84.5	83.2	88.0	
	薬剤部門職員		3.9	4.2	5.0	
	事務部門職員		6.8	7.4	9.5	
	給食部門職員		0.8	2.4	2.2	
	放射線部門職員		3.9	3.9	4.0	
	臨床検査部門職員		5.3	4.9	6.0	
	その他職員		2.9	3.1	6.6	
	全 職 員		132.1	131.9	145.4	

※地方公営企業決算報告の数値による。

※府下10病院平均値は、病床300床以上の市立病院(大阪市、堺市除く)の数値の単純平均値。

9. 平成23年度の主な診療データ

(1) 入院

(1)-1 年間延患者数

診療科	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科※	19,820人	39,514人	2,243人	105.7%
消化器内科	14,045人	—	—	—
腫瘍内科	7,892人	—	—	—
循環器内科	5,836人	8,075人	▲ 2,239人	72.3%
外科	19,533人	18,695人	838人	104.5%
整形外科	7,387人	8,113人	▲ 726人	91.1%
脳神経外科	1,585人	0人	1,585人	皆増
産婦人科	10,888人	10,245人	643人	106.3%
小児科	13,399人	14,085人	▲ 686人	95.1%
眼科	2,338人	2,472人	▲ 134人	94.6%
耳鼻咽喉科	5,584人	6,055人	▲ 471人	92.2%
形成外科	1,782人	1,432人	350人	124.4%
皮膚科	289人	187人	102人	154.5%
泌尿器科	8,153人	8,216人	▲ 63人	99.2%
麻酔科	5人	2人	3人	250.0%
歯科口腔外科	1,850人	1,623人	227人	114.0%
【 合 計 】	120,386人	118,714人	1,672人	101.4%

※消化器内科・腫瘍内科については、平成22年度は内科に含む。そのため、内科の増減欄と対前年度欄は、内科・消化器内科・腫瘍内科を合算したものと比較している

(1)-2 診療科別 入院収益

診療科	23年度			22年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	824,019千円	13.5%	41,575円	1,366,302千円	24.2%	34,578円
消化器内科	542,379千円	8.9%	38,617円	—	—	—
腫瘍内科	314,062千円	5.1%	39,795円	—	—	—
循環器内科	296,398千円	4.9%	50,788円	403,468千円	7.1%	49,965円
外科	1,160,285千円	19.0%	59,401円	1,077,709千円	19.1%	57,647円
整形外科	388,421千円	6.4%	52,582円	404,606千円	7.2%	49,871円
脳神経外科	89,775千円	1.5%	56,640円	—	—	—
産婦人科	667,050千円	10.9%	61,265円	607,688千円	10.7%	59,316円
小児科	784,760千円	12.9%	58,569円	807,044千円	14.3%	57,298円
眼科	111,131千円	1.8%	47,533円	113,785千円	2.0%	46,030円
耳鼻咽喉科	305,867千円	5.0%	54,776円	312,146千円	5.5%	51,552円
形成外科	145,464千円	2.4%	81,630円	114,072千円	2.0%	79,659円
皮膚科	8,446千円	0.1%	29,225円	5,633千円	0.1%	30,125円
泌尿器科	367,730千円	6.0%	45,104円	368,988千円	6.5%	44,911円
麻酔科	5千円	0.0%	1,000円	202千円	0.0%	101,020円
歯科口腔外科	98,915千円	1.6%	53,468円	74,790千円	1.3%	46,081円
【 合 計 】	6,104,707千円	100.0%	50,709円	5,656,433千円	100.0%	47,648円

※患者1人1日当たり収入は入院収益(円単位)を延患者数で除したものの。

(1)-3 診療行為別収入

行 為	平成23年度			平成22年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
投薬・注射収入	569,411千円	9.3%	4,730円	492,544千円	8.7%	4,149円
処置・手術収入	1,622,657千円	26.6%	13,479円	1,456,096千円	25.8%	12,266円
検査・放射線収入	378,348千円	6.2%	3,143円	352,408千円	6.2%	2,969円
入院料	3,143,043千円	51.5%	26,108円	2,993,549千円	52.9%	25,216円
その他	391,248千円	6.4%	3,249円	361,836千円	6.4%	3,048円
【合計】	6,104,707千円	100.0%	50,709円	5,656,433千円	100.0%	47,648円

(1)-4 病床利用率

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度
病床利用率	86.6%	85.6%	1.0%	101.2%

(1)-5 新入院患者数

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度
新入院患者数	9,503人	9,261人	242人	102.6%

(1)-6 退院患者数

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度
退院患者数	9,578人	9,205人	373人	104.1%

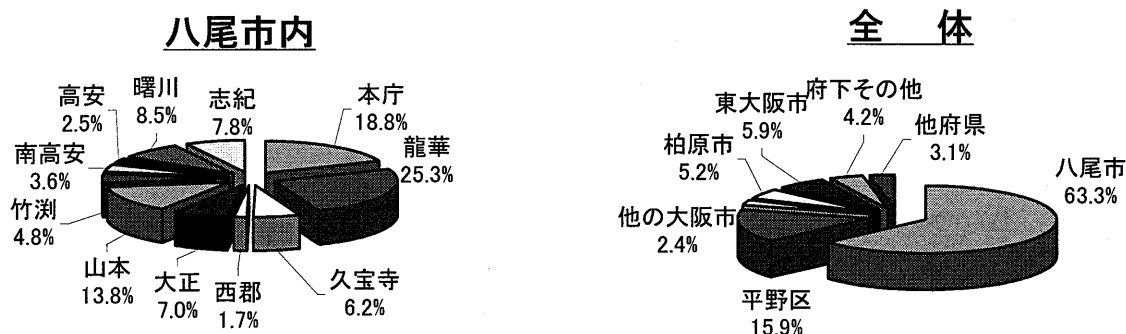
(1)-7 平均在院日数

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度
平均在院日数	11.6日	11.9日	▲ 0.3日	97.5%

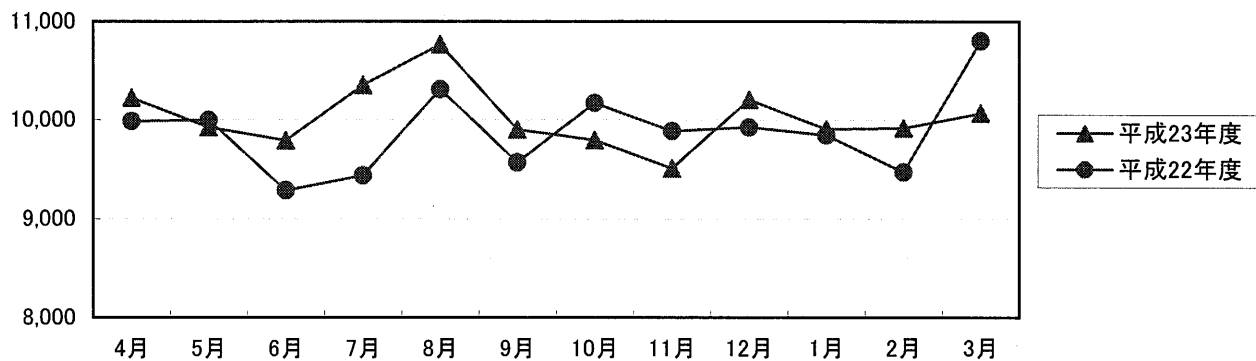
(1)-8 患者1人1日当たり診療収入

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度
1人1日当たり診療収入	50,709円	47,648円	3,061円	106.4%

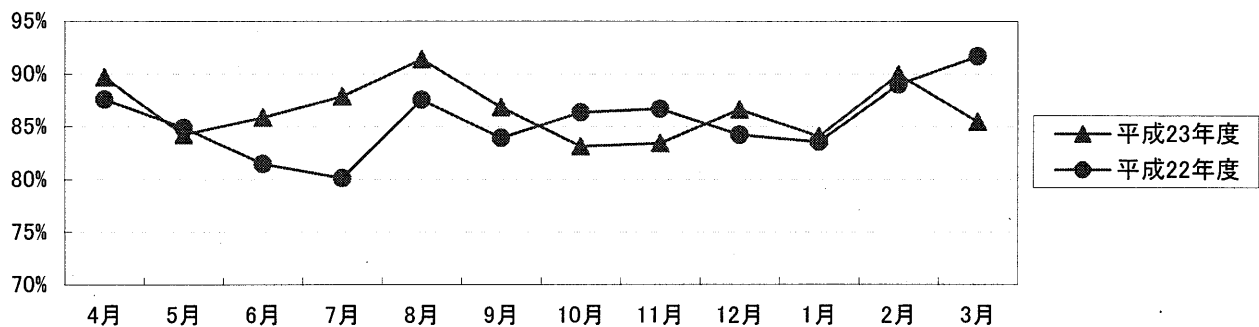
(1)-9 地域別入院患者の分布(平成23年度)



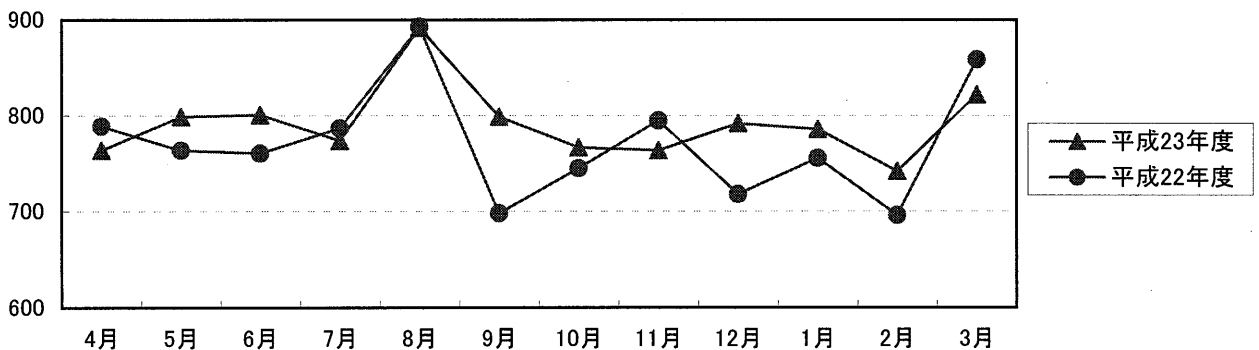
延入院患者数推移



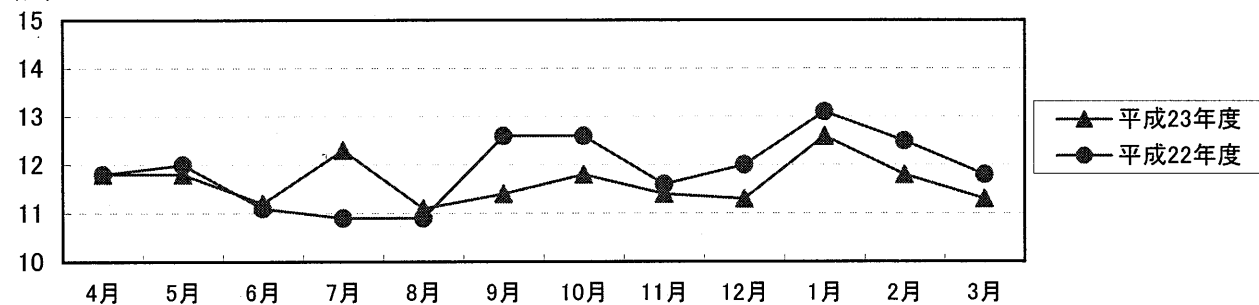
病床利用率推移



新入院患者数推移



平均在院日数推移



(2) 外来

(2)-1 年間延患者数

診療科	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科 ※1	21,339人	46,039人	▲ 9,004人	80.4%
消化器内科	13,617人	-	-	-
腫瘍内科	2,079人	-	-	-
循環器内科	6,945人	9,653人	▲ 2,708人	71.9%
神経内科	548人	497人	51人	110.3%
外科	18,654人	18,806人	▲ 152人	99.2%
整形外科	8,746人	8,682人	64人	100.7%
脳神経外科	2,329人	1,560人	769人	149.3%
産婦人科	20,343人	19,819人	524人	102.6%
小児科	24,692人	24,072人	620人	102.6%
眼科	9,257人	9,886人	▲ 629人	93.6%
耳鼻咽喉科	11,031人	11,035人	▲ 4人	100.0%
形成外科	4,128人	3,393人	735人	121.7%
皮膚科	5,013人	4,917人	96人	102.0%
泌尿器科	15,654人	16,109人	▲ 455人	97.2%
放射線科	4,617人	4,740人	▲ 123人	97.4%
リハビリテーション科	285人	148人	137人	192.6%
麻酔科	4,295人	4,128人	167人	104.0%
歯科口腔外科	5,999人	5,702人	297人	105.2%
救急診療科 ※2	10,266人	-	10,266人	-
【 合 計 】	189,837人	189,186人	651人	100.3%

※1 消化器内科・腫瘍内科については、平成22年度は内科に含む。そのため、内科の増減欄と対前年度欄は、内科・消化器内科・腫瘍内科を合算したものと比較している。

※2 平成23年度から救急診療科で対応したものを表記している。(平成22年度については内科と外科に含む。)

(2)-2 診療科別 外来収益

診療科	23年度			22年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	305,909千円	12.2%	14,336円	639,370千円	26.9%	13,888円
消化器内科	198,622千円	7.9%	14,586円	-	-	-
腫瘍内科	113,597千円	4.5%	54,640円	-	-	-
循環器科	61,902千円	2.5%	8,913円	81,311千円	3.4%	8,423円
神経内科	3,204千円	0.1%	5,847円	3,100千円	0.1%	6,238円
外科	474,300千円	18.9%	25,426円	442,835千円	18.7%	23,548円
整形外科	60,712千円	2.4%	6,942円	61,080千円	2.6%	7,035円
脳神経外科	28,923千円	1.2%	12,419円	17,664千円	0.7%	11,323円
産婦人科	95,257千円	3.8%	4,683円	93,493千円	3.9%	4,717円
小児科	437,274千円	17.5%	17,709円	415,783千円	17.5%	17,273円
眼科	85,486千円	3.4%	9,235円	94,887千円	4.0%	9,598円
耳鼻咽喉科	89,993千円	3.6%	8,158円	94,643千円	4.0%	8,577円
形成外科	26,976千円	1.1%	6,535円	23,168千円	1.0%	6,828円
皮膚科	21,499千円	0.9%	4,289円	20,881千円	0.9%	4,247円
泌尿器科	243,291千円	9.7%	15,542円	230,697千円	9.7%	14,321円
放射線科	87,370千円	3.5%	18,924円	89,581千円	3.8%	18,899円
リハビリテーション科	663千円	0.0%	2,326円	457千円	0.0%	3,086円
麻酔科	15,191千円	0.6%	3,537円	13,243千円	0.6%	3,208円
歯科口腔外科	55,264千円	2.2%	9,212円	51,591千円	2.2%	9,048円
救急診療科	100,154千円	4.0%	9,756円	-	-	-
【 合 計 】	2,505,587千円	100.0%	13,199円	2,373,784千円	100.0%	12,547円

※患者1人1日当たり収入は外来収益(円単位)を延患者数で除したものの。

(2)-3 診療行為別収入

行 為	平成23年度			平成22年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
初診・再診料	252,096千円	10.1%	1,328円	253,098千円	10.7%	1,338円
投薬・注射収入	762,139千円	30.4%	4,015円	672,685千円	28.3%	3,555円
処置・手術収入	113,478千円	4.5%	598円	99,971千円	4.2%	528円
検査・放射線収入	1,029,773千円	41.1%	5,424円	1,015,904千円	42.8%	5,370円
その他	348,101千円	13.9%	1,834円	332,126千円	14.0%	1,756円
【合計】	2,505,587千円	100.0%	13,199円	2,373,784千円	100.0%	12,547円

(2)-4 初診患者数

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診患者数	36,488人	36,763人	▲ 275人	99.3%

(2)-5 再診患者数

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
再診患者数	153,349人	152,423人	926人	100.6%

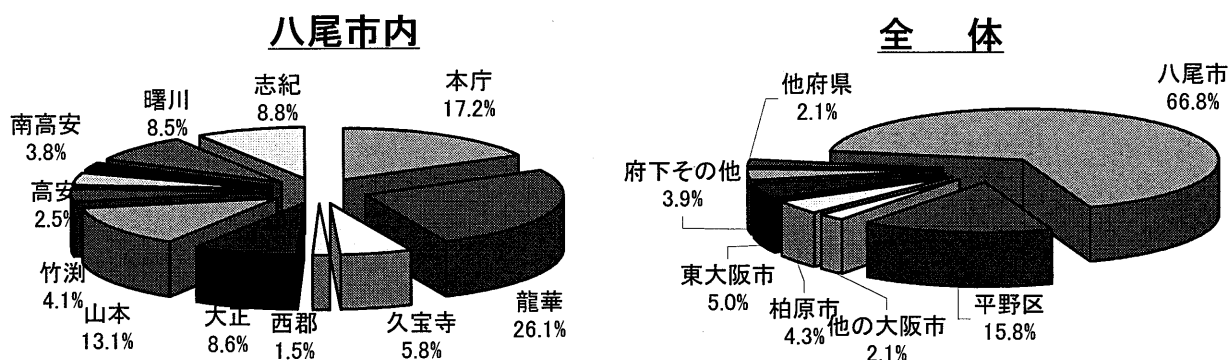
(2)-6 平均通院回数

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
平均通院回数	5.2回	5.1回	0.1回	102.0%

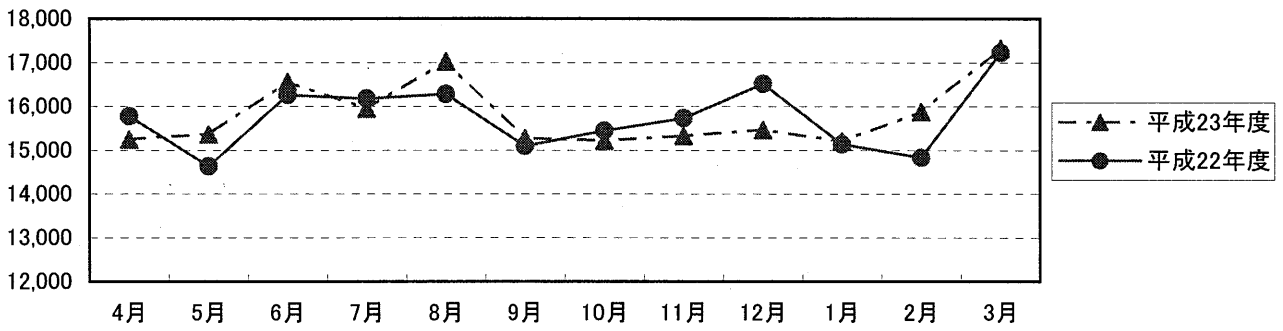
(2)-7 患者1人1日当たり診療収入

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
1人1日当たり診療収入	13,199円	12,547円	652円	105.2%

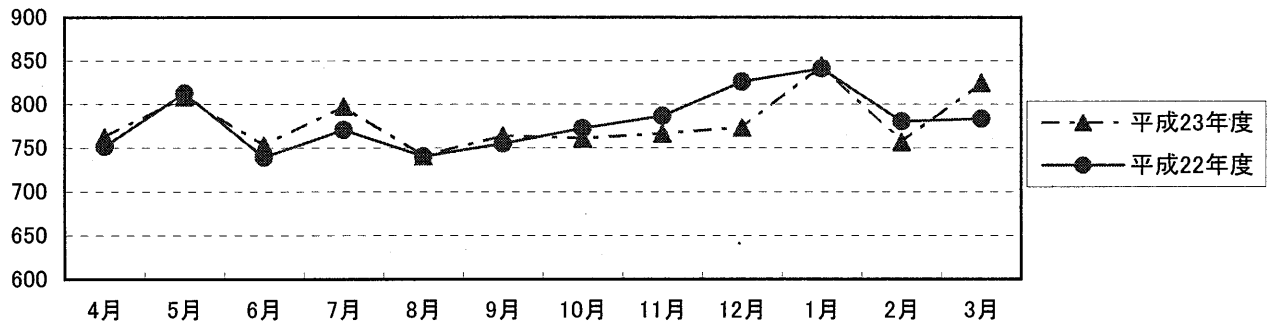
(2)-8 地域別外来患者の分布(平成23年度)



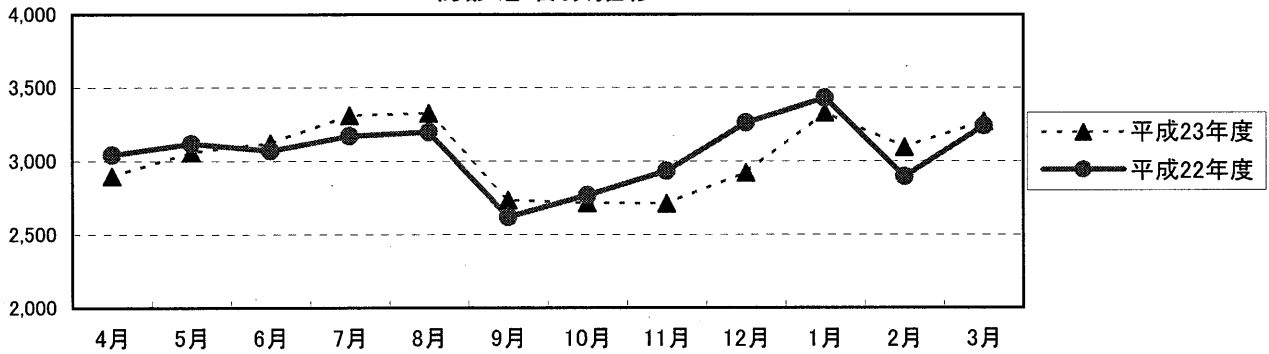
延外来患者数推移



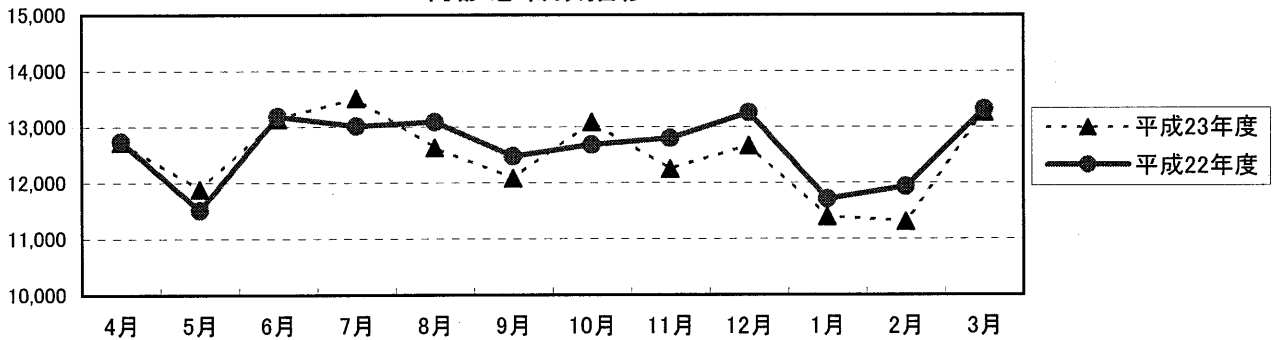
1日平均外来患者数推移



初診患者数推移



再診患者数推移



(3) 紹介率・逆紹介率

(3)-1 紹介率、逆紹介率

	①23年度	②22年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診紹介患者数	10,237人	11,713人	▲ 1,476人	87.4%
紹介率	46.6%	50.2%	▲ 3.6%	92.8%
逆紹介率	61.7%	49.4%	12.3%	124.9%

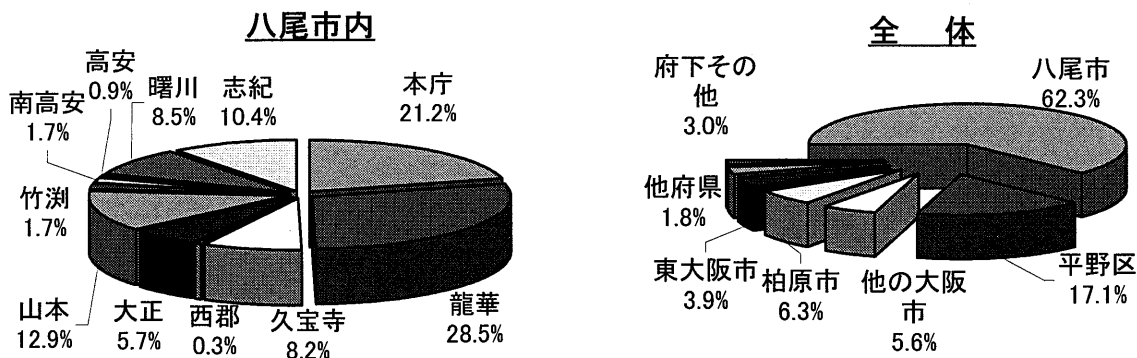
参考:地域医療支援病院基準紹介率 23年度 44.9%、22年度 52.4%、21年度 47.8%

【紹介率算出式】 $\frac{\text{文書により紹介された患者の数(初診料算定)} + \text{救急用自動車での搬送患者の数}}{\text{初診患者の数} - \text{時間外、休日又は深夜に受診した6歳未満の初診患者}}$

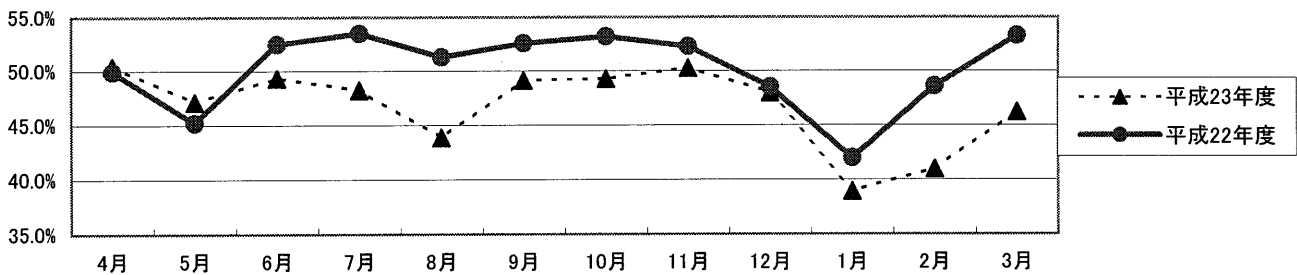
【逆紹介率算出式】 $\frac{\text{診療情報提供料を算定した患者数}}{\text{初診患者数} - \text{夜間休日初診患者数}}$

(3)-2 紹介元医療機関の分布(平成23年度)

(地域医療連携室の資料から作成)



紹介率推移



逆紹介率推移

